

# 新聞に見る静岡大学 2010年度

種別表示 ● 教育・学生 ■ 研究 ◆ 地域連携・社会貢献 ▲ その他(管理運営等)

(内容によっては、表示以外の種別にも関連のある場合もあります。)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
▲	社会時評「窓辺」執筆者が交代 金曜日担当に伊東幸宏静岡大学長	(3/31静岡)
●	静岡大と光産業大学院大学が包括連携協定を締結 地域産業活性化に連携	(3/31静岡・中日・日刊工業・日経)
▲	静岡大元教員2005年学術誌に発表の論文取り下げ 同大調べで掲載写真に不正	(3/30静岡・中日)
■	静岡大イノベーション共同研究センター(IJRC)と浜松信用金庫が「IJRC奨励賞」、「はましん産学連携大賞」授賞式を開催 産学連携に貢献した研究者を表彰	(3/30静岡・日経)
▲	静岡大静岡キャンパスに多目的保育施設「たけのこ」完成 育児中の教職員、学生を支援	(3/29静岡・中日)
▲	東日本大震災後、富士山など13の活火山で地震活動活発化 「地震波の影響等でマグマだまりが刺激」静岡大小山真人教授	(3/27静岡・中日)
◆	絆塾(代表理事 相原憲一静岡大大学院教授)とDSIAが「地域イノベーション研究会in浜松」を開催 地域の新たな価値創出の仕組み構築について意見交換	(3/27静岡)
●	「大学生がつくる新聞」学生記者7人が1年の活動を振り返る	(3/26毎日)
■	M9.0の巨大地震 東海地震の震源域にかかる力にわずかに影響 静岡大理学部里村幹夫教授、生田領野助教の解析	(3/26静岡)
●	被災学生の授業料、入学金減免検討 近隣アパート大家から物件の無償提供の申し入れも	(3/25静岡)
◆	東日本大震災で活動の災害派遣医療チームの医師が静岡大で講演 ボランティアを日ごろから組織化しておくことが必要	(3/24中日)
▲	統一地方選 戦況運動の省エネ化を公明党が提案 「過剰な自粛は有権者の関心が薄れかねない、政策の議論を」静岡大文学部日詰一幸教授	(3/23読売)
▲	静岡大浜松キャンパス内に学童保育所 大学関係者ほか周辺地域の子らを受け入れ	(3/23静岡)
▲	日本茶インストラクター協会が新役員を選出 副理事長に森田昭雄静岡大教授	(3/23中日)
■	微生物制御発酵茶に2種類の新ポリフェノールを袋井市の技術会が発見 静岡大、佐賀大などと共同研究	(3/23静岡)
●	22日 静岡大浜松キャンパス学位記授与式を挙行 1123人が社会での活躍を誓う	(3/23中日)
●	21日 静岡大静岡キャンパス学位記授与式を挙行 1468人が卒業	(3/22中日)
▲	岩手・大船渡 明治の大津波教訓の高所移転が集落救う 沼津市でも構想上がるも合意に至らず 静岡大防災総合センター牛山素行准教授は現存する建物移転は極めて困難と指摘	(3/20静岡)
◆	静岡大発ベンチャーITSCが被災大学、自治体などシステム復旧を支援 クラウドサーバやシステムの構築ノウハウを無償で提供	(3/19日経)
●	静岡大附属静岡中生徒会 30万円を寄託	(3/19静岡)
◆	静岡大附属図書館が被災地から県内に帰省した学生、大学院生を対象に図書を貸出し	(3/19静岡)
●	県内国公立大追加試験 静岡大は16日に実施、6人が受験	(3/18静岡)
▲	過去の地震に学び高台移住した大船渡市吉原地区は無事 「長期的な防災計画の中で移転の議論は有効」静岡大防災総合センター副所長牛山素行准教授	(3/15中日)
●	静岡県内各大学では、被災地出身学生の安否確認 静岡大他では安否情報を求めるメールを送信し返信内容の確認を進める	(3/15静岡)
●	静岡県内高校 計画停電に伴い休校措置も 静岡大学は2次試験の救済措置として16日に追試予定	(3/14静岡)
●	静岡県ボランティア協会と県立大、静岡大学生有志が被災者支援のため街頭で募金活動	(3/13静岡)
●	二次試験後期日程 静岡大は開始時間を2時間遅らせて実施 来場できない受験生は15日までに申請、16日に追加試験	(3/13毎日・中日)
●	二次試験後期日程 地震の影響で遅刻や欠席相次ぐ	(3/12静岡・中日)
●	県内国公立大学が地震で試験に来場できない場合に救済措置 静岡大は個別に対応を検討	(3/12静岡・中日)
●	静岡大教育学部卒業・修了制作展2011開催 テーマは「RE未来への返信」	(3/11静岡・中日)
▲	死体損壊、遺棄事件で傷害致死罪で起訴 「殺人罪で立件する資料が集まらず検察が慎重に判断か」静岡大法科大学院吉川真理教授	(3/11静岡)
■	静岡大と情報処理学会がバーコードを活用して視覚障害者向けに商品内容を音声案内するソフトを開発 ツイッターで利用者が使い方の工夫を投稿	(3/10日経)
■	茶学術研究会(会長 衛藤英男静岡大農学部教授)が研究成果発表会 今回から大学院生、学生による発表の場が設けられ、静岡大学生らが研究成果を発表	(3/10中日・静岡)
▲	静岡空港搭乗率訴訟で県と日航の主張に隔たり 静岡大日詰一幸教授「双方が戦略的に見極める視点が必要」	(3/10静岡)
◆	静岡市清水区江尻区まちづくり推進委員会が住民の防災意識向上のため講演会 静岡大防災総合センター林能成准教授が過去の地震の文書や被害想定を解説	(3/10静岡)
▲	『時評』揺れなしに大きな津波となる「津波地震」インドネシアの経験に学び五感を働かせて避難を	(3/9静岡)
■	種子を食べるコオロギが農地除草に一助 静岡大他の研究チームが調査	(3/8朝日)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
◆	市民団体ピースネット静岡主催第3回「おとなの授業」 静岡大人文学部橋本誠一教授が講演	(3/8静岡)
◆	SBS静岡健康管理センター公開講座 第1回講師に松井恒二静岡大教育学部教授	(3/8静岡)
◆	静岡大防災総合センターと静岡県が「ふじのくに防災フェロー養成講座」を開講 災害に強い人材育成	(3/8静岡・中日)
◆	静岡大・中日新聞連携講座第5回（最終回） 「東海地震について考えるための防災ゲーム」をテーマに静岡大工学部前田恭伸准教授が講義	(3/6中日)
●	静岡県読書感想文・感想画コンクール 優良賞に峰松礼佳（附属浜松小4）、前田裕月（附属浜松小6）	(3/6毎日)
■	大学ネットワーク静岡が「科学交流フォーラム」開催 静岡大理学部宗林留美助教が研究成果を発表	(3/7静岡)
◆	駿河区区民懇話会（会長 静岡大人文学部上利博規教授）が区長に海岸線活用のスポーツ大会など政策提言	(3/6静岡)
▲	伊豆東部火山群の火山防災対策検討会（会長 土屋智静岡大農学部教授）が会合 噴火影響範囲を確定	(3/5読売)
◆	静岡県社会福祉協議会が地域福祉推進セミナーを開催 静岡大人文学部日詰一幸教授が講演	(3/5静岡)
▲	虐待死の裁判員裁判 求刑上回る判決は市民感情を反映と静岡大法科大学院吉川真理教授	(3/3静岡)
■	静岡大教育学部が、教育研究フォーラムを開催 附属学校・園の実践教育と連携した地域社会への貢献を探る	(3/3静岡)
■	静岡大 視覚障害者向け携帯用ソフト開発 バーコードを読み音声で商品案内	(3/1日経)
◆	静岡大・中日新聞東海本社連携講座最終回「東海地震について考えるための防災ゲーム」開催 静岡大工学部前田恭伸准教授が講師	(3/1中日)
▲	入試問題流出を受け、静岡県内大学では従来の対策を徹底する方針 原因不明の中それ以上の対策について困惑	(3/1読売)
●	静岡県内アカペラグループが路上ライブ 社会人や静岡大の学生など18グループが出演	(3/1静岡)
◆	静岡県「伊豆東部火山群の火山防災対策検討会（会長・土屋智静岡大地震防災センター教授）が、伊豆半島東部火山群火口想定位置を決定	(2/28静岡、3/1中日)
●	「ビジネスプランコンテスト」学生奨励賞に静岡大大宮拓馬さん	(2/25静岡)
●	国公立大2次試験前期日程終了 静岡大欠席率は9.4%（332人）	(2/26静岡・中日)
●	国公立大2次試験前期日程スタート 静岡大学志願者は3,524人（倍率3.2倍）	(2/25静岡・中日)
■	伝記「定本徳川家康」で新しい家康像 本多隆成静岡大名誉教授著	(2/27読売)
◆	富士地域森林・林業再生プラン実践協議会が富士宮市内で研究会 静岡大農学部近藤恵市准教授が間伐事業などについて解説	(2/26静岡)
■	静岡大佐古教授、岡島助教にインタビュー 環境と新エネルギーに照準を置いた研究 産学官連携成功へのポイント	(2/22日刊工業)
▲	静岡大イノベーション共同研究センター創立20周年 地域連携を強化し組織改革へ	(2/22日刊工業)
●	静岡大工学部全一年生によるロボットコンテスト ロボット対戦に市民らが声援	(2/21中日)
◆	静岡大が公開講演会「生態系の危機 私たちには何ができるか」を開催	(2/20静岡)
◆	浜松地域テクノポリス推進機構などが「メディカルイノベーションフォーラム」を開催 静岡大や光産業創生大学院大学の研究者らが討論	(2/19中日)
◆	ピースネット静岡がトークイベント「おとなの授業」開催 講師に静岡大人文学部橋本誠一教授	(2/19静岡)
▲	静岡大は男女共同参画をテーマにシンポジウム「女性の潜在的な力を引き出す」を開催	(2/19静岡)
◆	静岡県と静岡大防災総合センターが霧島連山・新燃岳の火山活動に関する現地調査報告会を開催	(2/18静岡)
■	井上翼静岡大工学部准教授らがカーボンナノチューブを繊維状に加工する技術を開発 静岡大発ベンチャー浜松カーボニクスが製造、販売	(2/17静岡、毎日、中日、日経)
■	平形精一静岡大教授退任記念講演「書業60年を振り返る」開催 研究成果を紹介	(2/16静岡)
◆	静岡空港の県内経済波及効果245億円 静岡大に分析委託	(2/15静岡、読売)
◆	静岡大・中日新聞東海本社連続講座第4回が開催 「経営情報学からのモノづくりのまち・浜松を考える」と題して 静岡大情報学部田中宏和教授が講師	(2/13中日)
◆	浜松城公園の歴史ゾーン整備を考える市民フォーラム 小和田哲男・静岡大名誉教授が市民参加型の復元が長続きすると助言	(2/12中日)
●	「しぞ〜かおでんフェア」開催 静大をはじめ県内学生考案のおでん販売コーナーも	(2/12読売)
▲	世界で人気誇る静岡の模型 実在しないキャラクターにリアルさを求めるのは日本人特有の文化 静岡大・芳賀正之教授	(2/12読売)
▲	文章教室「スコーレ」8周年記念教育座談会 大堀精一氏、中西美沙子氏、伊東幸宏静岡大大学長	(2/11中日ショッパー)
▲	静岡県新年度予算案を発表 方向性見えるも借金依存の財源構成 日詰和幸静岡大教授	(2/11朝日)
▲	川勝平太県知事が「"ふじのくに"づくり宣言」 市町を県職員がサポートする形がよいと日詰和幸静岡大教授	(2/11中日)
▲	「工業都市・浜松の未来を語ろう！」テーマにパネルディスカッション 静岡大工学部同窓会の事前イベント	(2/11中日)
●	静岡市の友好都市ベトナム・フエ市から学生らが静岡市を訪問 公共施設、企業、静岡大などを視察	(2/11静岡)
◆	静岡市環境審議会（副会長に鈴木滋彦静岡大教授）が市地球温暖化対策実行計画案を策定 答申書を提出	(2/9静岡)
●	しずおか世界翻訳コンクール韓国語部門最優秀賞受賞者パクウンジョンさん 静岡大での留学生生活を静岡県に報告	(2/9中日)
▲	『時評』ふじのくに防災フェロー養成講座で人材を育て波及効果を期待 牛山素行静岡大防災総合センター副センター長・准教授	(2/9静岡)
●	佐治麻希（妙心）さん（伊豆市妙蔵寺副住職）が静岡大附属浜松中で講演 反戦の願いを語りかけ	(2/8中日)
●	島田市社会福祉大会 静岡大附属島田中学校が福祉活動を発表	(2/8中日)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
●	しずおか世界翻訳コンクール英語部門最優秀賞受賞者ブレイク・バギュリーさん 静岡大での留学生生活を静岡県に報告	(2/8中日)
◆	静岡県防災士（ふじのくに防災士）養成講座（静岡大防災総合センターと静岡市が開講） 定員10人程度に5倍の応募 定員枠を増やし対応	(2/8静岡)
●	浜松で「中国春節祝賀会」 中国人留学生と在日中国大使館員、日本人が親交	(2/7中日)
●	静岡市子供連合会餅つき体験 青少年国際親善交流事業の一環で留学生も参加	(2/6静岡)
●	JICA全国中高エッセーコンテスト受賞 西沢友理恵さん、大野菜里さん、渡辺裕美さん（静岡大教育学部附属浜松中3年）	(2/5中日)
◆	「はままつメッセ2011」最終日 静岡大農学部糠谷明教授が、農業ビジネスの起業を目指す人材育成の取組を紹介	(2/5静岡)
●	外国人留学生対象の就職セミナーが静岡大浜松キャンパスで開催 進路の確保と留学促進が狙い	(2/5静岡、毎日)
◆	静岡大・中日新聞東海本社連続講座第4回「経営情報学からモノづくりのまち・浜松を考える」を開催	(2/3中日)
●	東京－京都間の東海道五十三次を、各地の大学生がごみ拾いをしながらたすきをつなぐ駅伝大会 静岡大生ら学生、社会人26チームが参加登録	(2/5静岡、中日)
●	静岡大・山本教授が最終講義 40年間にわたり運動生理学の教育・研究活動	(2/3静岡)
●	静岡県内大学の留学生の就職支援セミナー開催 「日本企業は社員教育が充実 日本で働きたい」静岡大留学生	(2/4中日)
◆	「地域再生人材創出拠点の形成シンポジウム」静岡大工学部と浜松市が開催 3次元デジタル技術分野のものづくり技術者育成を図る	(2/2静岡)
◆	静岡県社会福祉会の災害対策セミナー アドバイザー役小林朋子静岡大准教授	(2/2中日)
●	静岡大附属浜松中 ハワイでの体験学習を前にハワイの自然環境を学ぶ	(2/2静岡)
●	静岡大教育学部の学生が小学校で授業 郷土の偉人を題材にした道徳授業の教材を開発	(2/1静岡)
◆	産学官連携ネットワーク協議会、東海イノベーションネットワークは「産学官マッチング会in浜松」を開催 静岡大など研究者7人が技術シーズを発表	(1/26静岡)
●	中央教育審議会 昨年「重点的な改善が必要」と指摘した法科大学院13校のうち、静岡大など8校が「改善進まず」と報告	(1/26静岡・中日・日経)
●	静岡大大学院などによる「大学院教育改革支援採択事業公開フォーラム」で、マニフェストをコンセプトにした大学院教育の成果などを発表	(1/25中日)
●	国公立大学2次試験の願書受け付け始まる	(1/24静岡・毎日・中日)
◆	静岡大地域連携協働センターによる公開シンポジウム「地域と大学を結ぶ」で、佐鳴湖浄化など学生が市民、企業と地域の課題に取り組んだ4事例を報告	(1/30中日)
◆	静岡県文化財団講演会「静岡のホビー 世界に誇れる文化 そのルーツを探る」で、静岡大教育学部芳賀正之准教授が静岡ホビーの源流を解説	(1/30静岡)
●	大学生がつくる新聞 「たまり場に見る学生」で静岡大周辺食堂オーナーに学生を語ってもらう インタビューアーに静岡大学生	(1/28毎日)
▲	第7回しずおか世界翻訳コンクール最優秀賞受賞者ブレイク・バギュリーさん（オーストラリア）、パク・ウンジョンさん（韓国）両名が、静岡大留学の感想など、副県知事へ報告	(1/28静岡・中日)
◆	静岡県スポーツ振興審議会（会長・松井恒二静岡大教授）は、新しい「県スポーツ振興基本計画」最終案を議論	(1/28静岡)
◆	浜松市で環境カフェ「環境問題のウソ・ホントを見分けるために」 講師に静岡大工学部松田智准教授	(1/27毎日)
●	静岡税務署が、静岡大教育学部の学生に租税セミナー	(1/27静岡)
●	中央教育審議会 昨年「重点的な改善が必要」と指摘した法科大学院13校のうち、静岡大など8校が「改善進まず」と報告	(1/26静岡)
◆	静岡大学理学部主催「サイエンスカフェin静岡」第11シーズの詳細決まる	(1/24静岡)
●	作文コンクール「このまちから国際理解を広めよう」優秀賞に静岡大附属浜松中3年飯田凜里子さん	(1/23中日)
▲	第11回「掛川ひかりのオブジェ展」で、実行委員会特別賞に静岡大	(1/23中日)
●	竜南小ソフトボールクラブが十二双川沿いで清掃活動 静岡大学生2名もボランティアとして参加	(1/23静岡)
■	科学技術振興機構イノベーションサテライトが2010年度「研究成果報告会」を開催 静岡大など7人が産学連携で取り組む研究を発表	(1/22中日)
◆	静岡大地域連携協働センターが地元と大学の連携を探る公開シンポジウム「地域と大学を結ぶ～教育・研究・地域連携の融合をめざして」を開催	(1/22毎日)
▲	静岡大教育学部平形精一教授（雅号精逸）の退任記念書展をグランシップで開催 同所で静岡大教育学部芸術文化課程書文化専攻の卒業展も開催	(1/22静岡)
●	第59回静岡新聞社・静岡放送スポーツ賞優秀選手賞に松浦みな美さん（静岡大2年） 全日本女子相撲郡上大会軽量級で優勝	(1/22静岡)
◆	静岡県と北海道の食の連携活発化 自治体、大学が中心となって連携会議開催 静岡大も参加	(1/21日経)
◆	静岡県は外国人留学生の採用を支援 静岡大他主催で外国人留学生の採用を検討している企業対象のセミナーを開催	(1/21日経)
◆	静岡のホビー～世界に誇れる文化 そのルーツを探る～グランシップで開催 静岡大芳賀正之准教授が発展の経緯などを解説	(1/21中日)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
●	静岡大附属静岡小で、入学者抽選ミス 女児2名多く合格に	(1/21静岡・朝日・読売・毎日)
▲	静岡県は戦国の静岡を紹介するHP、ガイドブックを作成 小和田哲男静岡大名誉教授が編集に協力	(1/20読売)
●	静岡大学は大学院GP採択事業公開フォーラムを開催 マニフェストを取り入れた大学院授業の取組みを紹介	(1/20日経)
▲	静岡県は県内の城と戦国武将を紹介するウェブサイトを公開 公開記念イベントでは、小和田哲男静岡大名誉教授らによるシンポジウムも開催	(1/18中日)
■	静岡大工学部山川俊貴助教らの研究グループ 患者の負担が大幅に軽減されるてんかんの新しい診断・治療技術を開発 今年中にも臨床実験	(1/18中日)
●	大学入試センター試験 静岡県内の志願者は15,840人 静岡大静岡キャンパスでは、約1,300人が受験	(1/16朝日・読売)
◆	清水隣保館保育園職員の防災研修会で静岡大防災総合センター林能成准教授が地震の特徴などを解説	(1/16静岡)
●	静岡大教育学部芸術文化課程書文化選考卒業書展 1月21日～23日までグランシップで開催	(1/14毎日)
▲	「伊達直人」名の寄付 橋本剛（静岡大教授）は「支え合いのさじ加減が難しい時代。行為が正当化されやすい状況	(1/13静岡)
◆	静岡市子供読書活動推進会議（会長江口尚純静岡大教育学部教授）が開催 静岡市の子供読書活動推進計画の進捗状況を報告	(1/13静岡)
●	地場製品のデザインを考える「静岡『夢』デザインコンテスト2011」で、特別賞受賞作品に田中ゆうたさん（静岡大教育学部附属静岡小3年）の「富士山ふろしき」他	(1/13中日)
◆	静岡県災害時医療健康支援研修会を実施 静岡大教育学部小林朋子准教授が講演	(1/13中日・静岡)
●	平成22年度文部科学大臣優秀教員表彰受賞 川島一雄静岡大教育学部付属浜松中	(1/13中日)
◆	「ふじのくに防災フェロー養成講座」3月に静岡大で開講 企業や自治体の防災担当者を対象に災害の専門情報を読み解く能力を育成	(1/13中日)
■	静岡大発ベンチャーEu-BSが花粉症の偏印物質を分解、不活性化するマスク・衣類用スプレーを商品化	(1/12日経)
●	静岡大留学生約30人が茶会を通して日本の正月を体験 有志と表千家中村さんら社中、静岡大学国際交流センターの協力で企画	(1/12静岡)
●	静岡祭り夜桜乱舞コンテスト 現役学生チームを対象に実施 昨年は「静岡大学お茶ノ子祭々」が優勝	(1/12静岡)
◆	伊豆ジオパーク構想の推進指針書概要 見所112ヶ所（静岡県が静岡大小山真人教授に委託して作成）	(1/12静岡)
■	植物プランクトン「シノバクテリア」が太陽光が届かない海中、中層でも生存 静岡大理学部宗林留美助教と静岡県水産技術研究所が駿河湾で共同研究	(1/11静岡)
◆	災害対策セミナー「障害者・自閉症児者等の災害時の支援を考える」開催 静岡大教育学部小林朋子准教授が基調講演	(1/10静岡)
◆	静岡大・中日新聞東海本社の連続講座第3回開催 静岡大情報学部西原純教授が「ガバナンス（情報共有と合意形成）からみた平成の市町村合併」をテーマに講義	(1/9中日)
▲	2月12日に「第15回菜の花忌シンポジウム」開催 第1部で司馬遼太郎賞受賞楊海英静岡大教授スピーチ	(1/8静岡)
▲	浜松市が理科の実験を手ほどきする特別講師を派遣 産学連携期間「浜松R E I N房」（事務局・静岡大工学部）との連携を検討	(1/5中日)
◆	県防災士対象に静岡大防災総合センターで「ふじのくに防災フェロー」第1期生養成講座が3月開講	(1/5静岡)
◆	静岡大・中日新聞東海本社連携講座「これからの〈まち〉の姿を考える－工学&情報の視点から」第3回が開催。静岡大情報学部西原純教授が講演	(1/4中日)
◆	対談「被災時の自助・共助の公助」前佛和秀国土交通省沼津河川国道事務所長・牛山素行静岡大防災総合センター副センター長	(1/4静岡)
●	静岡市新成人を祝う式典 静岡大2年杉山大祐さんらが新成人を代表し誓いの言葉	(1/4読売)
▲	天城の地形、火山を紹介するマップを発刊 小山真人静岡大教授	(1/3静岡)
▲	クラウドコンピューティングの活躍の場広がる 静岡大は学内のサーバー、端末の学外移設環境を整備 2014年度までに移設を完了する予定	(1/1日経)
▲	静岡大日詰一幸教授に、地方議会の現状と課題、議会基本条例のあり方についてインタビュー	(1/1静岡)
●	全日本女子相撲部上大会軽量級優勝 松浦みな美（静岡大2年）	(1/1静岡)
▲	未来へ守り残すため、人工林の「力」を取り戻す県の取組 「人工林を管理する仕組みが行政にできれば」静岡大農学部水永教授	(1/1静岡)
●	ちっちゃな文化展（掛川市横須賀地区）で、京都市在住の小西氏中心に、「巢」をテーマにインスタレーション展を開催 企画から準備までサポートする静岡大生たちと京都、掛川をe-じゃん掛川のSNSを利用し、距離を超えてつながりたいという思いを共有	(1/1静岡)
●	「おかえり『はやぶさ』帰還カプセル特別展示in浜松」開幕 静岡大教育学部附属浜松小4年性が校外学習の一環で来場	(12/27中日)
◆	「県スポーツ指導者研修会」開催 奥村基生静岡大教育学部助教「スポーツ指導におけるコミュニケーションスキル」と題し講演	(12/25静岡)
▲	司馬遼太郎賞受賞楊海英（大野旭）静岡大教授にインタビュー	(12/25静岡)
◆	藤枝市行政サービス評価委員会（委員長・大橋慶士静岡大教授）は、本年度補助金事業を検証 自立促す交付方法を検討する意見も	(12/23静岡)
◆	アサヒビール「日本の環境を守る若武者育成塾」に静岡県立富岳館高校の「富士山の酪農を元気にするための私たちの挑戦」 研究には静岡大、県立大、信栄製紙も協力	(12/21中日)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
▲	日航支援金訴訟 静岡県は「長期就航が前提」と主張 訴訟は「長期化の恐れ」静岡大日詰一幸教授	(12/18静岡)
◆	静岡市美術館が講演会「家康を育てた駿府 家康が築いた駿府」を開催 小和田哲男静岡大名誉教授が家康と駿府の関わりを解説	(12/18静岡)
▲	本音インタビュー 静岡大工学部長東郷敬一郎氏 ものづくりを通じた人材育成や社会連携の必要性を説いた	(12/17静岡)
▲	『時評』ジオパーク構想 大地に根ざしたもの全てが資産 小山真人静岡大防災総合センター教授	(12/16静岡)
◆	静岡県立美術館が「鑑賞教育指導研修会」を開催 「美術教育史にみる鑑賞」と題して芳賀正之静岡大准教授が講演	(12/14静岡)
●	静岡大地震防災授業で静岡市職員が大規模災害発生を想定した復興の取り組みを講義 学生150人が聴講	(12/14静岡)
◆	静大・中日新聞連携講座「これからの〈まち〉の姿を考える」第2回で、創造科学技術大学院佐古猛教授がバイオ燃料に関する最新研究を紹介	(12/12静岡)
■	電子工学分野で功績のあった研究者に贈る高柳賞に静岡大学電子工学研究所川人祥二教授	(12/11静岡)
■	「江川文庫」の史料6万点を調査 幕政の実態や近代化の過程を伝える史料がまとまって発見されるのは例をみない 湯之上隆静岡大教授・調査総括主任	(12/11静岡)
◆	静大・読売講座詳報「アウトドア 安全に楽しく」 静岡大教育学部村越真教授	(12/10読売)
▲	司馬遼太郎賞受賞楊海英（大野旭）静岡大教授にインタビュー	(12/10中日)
▲	静岡大次期学部長選挙 教育学部長に梅沢収、理学部長に増田俊明、農学部長に鈴木滋彦を選出、人文学部長佐藤誠二は再選出	(12/10静岡)
◆	柿田川を富士山の世界文化遺産登録の構成資産に 県学術委員会（委員長土隆一静岡大名誉教授）が課題を協議	(12/9中日)
▲	第14回司馬遼太郎賞に楊海英（大野旭）静岡大教授著『墓標なき草原』（上・下巻 岩波書店）	(12/9毎日、静岡)
●	トークライブ「世界の中で輝いている？静岡」開催 静岡市内の大学生と小嶋善吉静岡市長が静岡の魅力テーマに意見交換	(12/9静岡)
◆	「ものづくり立県」の次世代を担う若者の育成に向け「県理工系教育機関連携推進協議会」発足 静岡大も参加	(12/8静岡)
●	学生と企業採用担当者が意見交換 労働問題に取り組むNPO法人「POPOLO」（代表静岡大人文3年鈴木和樹）と静岡県経営者協会が企画	(12/7静岡)
▲	静大祭in浜松にかつての商店街の活気をみた	(12/6中日)
●	第72回東海学生駅伝選手権大会で、静岡大6位	(12/6中日)
●	静岡大浜松キャンパスの学生を対象にした合同企業説明会 学生450人が来場	(12/5中日)
◆	第8回静大・読売連続市民講座（最終回） 教育学部村越真教授「アウトドア 安全に楽しく」と題して講演	(12/5読売)
◆	静大・中日新聞連携講座「これからの〈まち〉の姿を考える－工学&情報学の視点から」第2回を開催	(12/4中日)
●	富士山学生書写書道展 審査委員長賞・毛筆受賞 橋爪咲弥子（静岡大附属浜松中3）、野村怜海（静岡大島田中3）、道場翔太郎（静岡大4）	(12/2毎日)
▲	鈴与商事と損保ジャパンがカーボンオフセットの新サービス「COG+」をスタート 一部を静岡県気球温暖化防止活動推進センターに寄付 静岡大文学部水谷准教授「社会貢献度が高い取り組み」	(12/2中日)
◆	静大・読売連続市民講座第8回 安全な登山をテーマに開催	(12/3読売)
■	静岡大附属静岡中で研究授業 生徒の議論法を見学し指導法の参考に	(12/2静岡)
◆	静岡県小山町で環境負荷の小さい燃料「木質ペレット」の利用促進セミナー 静岡大工学部松田智氏が講演	(12/2静岡)
●	富士山学生書写書道展 審査委員長賞・硬筆受賞 静岡大4年道場翔太郎	(11/30毎日)
◆	大学の授業を市民に開放する公開講座がシニア世代を中心に人気 静岡大では05年度の開講から5年で受講生倍増	(11/29中日)
◆	静岡大学地学研究会「冬の天文教室」を開催 小学生を対象に参加者募る	(11/29静岡)
◆	内牧読書会27年の歴史に幕 元静岡大学教育学部教授下山田氏を中心に活動	(11/29静岡)
◆	3大学連携事業推進委員会（静岡大、静岡県立大、静岡産業大）が、国際シンポジウムを開催 人材育成には留学生力が必要との意見で一致	(11/29静岡)
●	「大学生がつくる新聞」静大祭でサークルリーダーとして活躍 自身の成長を実感	(11/27毎日)
◆	静岡県手話通訳士協会が法廷の手話通訳研究強化 静岡大法科大学院が協力	(11/27静岡)
●	第30回全国中学生人権作文コンテスト県大会最優秀賞に静大附属浜松中3年守田幸平	(11/27静岡)
●	静岡大附属島田中で「学校保健委員会」 基本的な生活習慣の大切さを学ぶ	(11/27静岡)
◆	12月18日コープしずおかと静大が第4回連携講座 テーマは「グリーンコンシューマーを目指して－地球環境も家計も守る」	(11/26静岡)
■	オプトロニクスフェア2010in浜松 パラボラと共同開発したイメージングシステム紹介 静岡大創造科学技術大学院下平美文教授	(11/25静岡)
◆	静岡県が知的財産指針策定へ 検討委員に静岡大や企業の社長など9名	(11/25静岡)
●	富士山学生書写書道展 清水彩加（静大附属静岡中3）、富田真緒（静大附属静岡小6）上位入賞	(11/25毎日)
◆	静岡大「静岡農業ビジネス企業人育成講座」 受講生が販売実習	(11/25静岡)
◆	静岡大、静岡県立大、静岡産業大連携講座 藤枝市長が「新公共経営（NPM）」解説	(11/25静岡)
◆	県防災・原子力学術会議初会合 静岡大防災総合センター林能成准教授ほか浜岡原発の現状を説明	(11/24中日)
◆	第4回コープ静岡・静岡大連携講座 テーマは「グリーンコンシューマーを目指して～地球環境も家計も守る～」	(11/23日経)
▲	「第38回静岡寮歌祭」最期の開催 旧制静岡高（現静岡大）や浜松高等工業学校（現静岡大工学部）などの卒業生が参加	(11/23静岡)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
◆	浜松市中区で地域住民と下宿学生参加の自主防災訓練 災害時に協働して救助・救出システム構築へ	(11/22中日)
◆	静岡大農学部森田明雄教授 茶農家対象の研修会で肥料の効果的な使い方を解説	(11/21中日)
▲	「赤石産地（南アルプス）の自然遺産」静岡大キャンパスミュージアムで開催 赤石産地の岩石や植物を展示	(11/21毎日)
■	静岡大附属特別支援学校で第37回研究協議会 今年から日程を延長 理解と交流を深める	(11/20中日)
●	第29回毎日新聞富士山学生書写書道展毎日新聞社賞受賞者と作品を紹介 静岡大附属静岡小2年小西諒介さん	(11/20毎日)
◆	静岡大理学部「静岡サイエンススクール」 相原名誉教授の講義などを高校生と保護者らが聴講	(11/21静岡)
●	静岡大学農学部で「農学祭」 植木市、野菜市など人気	(11/20中日)
●	19日から21日まで「静大祭」ステージやサークル研究室の展示など 農学部棟で「農学祭」同時開催	(11/20静岡)
▲	優良PTA文部科学大臣表彰に静岡大附属浜松小父母と教師の会ほか県内4PTA受賞	(11/20静岡)
▲	「静岡学生NGOあおい」がカンボジアの児童買春撲滅を啓発する雑誌「かぼちゃ」第3号を発行 静大祭、書店、チャリティーイベントなどで販売	(11/20静岡)
■	静岡大附属特別支援学校で「研究協議会・研究フォーラム」	(11/20静岡)
■	「第35回日本比較内分泌学会大会」静岡市で開催 実行委員長に田中滋康静岡大創造科学技術大学院教授	(11/20静岡)
◆	静岡大浜松キャンパスで宇宙を楽しむシンポジウム JAXA准教授らトークショー	(11/19中日)
▲	静岡大浜松キャンパスで高柳氏記念シンポジウム テレビジョン技術や最先端研究発表	(11/19中日)
▲	人形劇「稲むらの火」を静岡大学理学部で上演 防災の重要性を訴える	(11/19静岡)
▲	ツインメッセ静岡で合同企業説明会「静大就職祭」 2012年春卒業予定の学生が情報収集	(11/19静岡)
■	富士川河口断層帯 東海地震で連動も 「断層の位置に敏感になるべき」静岡大林愛明教授	(11/18中日)
●	留学生の受け入れ「数」から「質」へ転換 静岡大でも「NIFEE」プログラムで地元企業のニーズを視野に入れた取	(11/18静岡)
◆	県地震防災センターが夜間開館を試行 期間中の日替わり防災講座で牛山素行静岡大防災総合センター准教授講演	(11/18静岡)
■	寿命3倍産業用ノコギリ エスケイが静岡大と共同開発	(11/17日経)
◆	静岡大内キャンパスミュージアムで「赤石山地（南アルプス）自然遺産」開催 赤石山地の魅力を紹介	(11/17静岡)
●	第29回毎日新聞富士山学生書写書道展「県知事賞」硬筆の部 静岡大4年宇佐美枝里が受賞	(11/17毎日)
■	エスケイ 長寿命ステンレス切断用チップソーを開発 静岡大工学部酒井克彦准教授との共同研究	(11/16静岡)
◆	第1回静大・中日連携講座 静岡大工学部松田智准教授が講演「環境問題のウソ・ホントを見分けるために」	(11/14中日)
▲	日経BP「大学ブランド・イメージ調査2010-2011（北陸・東海編）」を発表 静岡大6位	(11/13日経)
◆	静大・中日新聞 連携講座「これからの〈まち〉の姿を考える－工学&情報学の視点から」開講	(11/13中日)
◆	東海地震防災セミナーで前田恭伸静岡大防災総合センター准教授が講演「自主防災組織のための新たな人材育成講座 開発の試み」	(11/12静岡)
■	富士川河口断層帯 以前の調査より6キロ南北に 林愛明静岡大教授「自宅や職場と断層帯の位置確認を」	(11/12中日)
◆	第7回静岡大・読売講座詳報 その人らしい最期を迎える環境整備必要 静岡大人文学部松田純教授	(11/12読売)
■	静岡大附属島田中で教育研究発表会 独自性を生かしたプログラムを発表	(11/12静岡、中日)
◆	浜松市立蛸塚中で教育研究発表会 静岡大工学部藤間信久教授が乾電池作りの授業	(11/11静岡)
▲	静岡市葵区の小野森男弁護士 静岡大法科大学院卒業生対象の奨学金制度を創設	(11/11静岡)
▲	県警静岡地区少年サポートセンターが静岡大で訪問授業 青少年の健全育成をさせる関係機関の連携強化 教職員志望の学生にPR	(11/11静岡)
▲	静岡空港福岡線運行支援金の支払い問題法廷へ 「信義則」評価に注目 静岡大人文学部高橋正人准教授	(11/11静岡)
▲	静岡市幼児言語教室30周年記念式典 「運営環境の整備に理解を」と大塚玲静岡大教授	(11/9静岡)
◆	静岡大農学部教授陣等による静岡薬用植物栽培研究会 収益性の高い薬草栽培で県内農家を支援	(11/9静岡)
◆	静岡大・中日新聞連携講座 開講を前に静岡大伊東学長にインタビュー	(11/7中日)
◆	静大・読売連続市民講座 人文学部松田教授が終末医療のあり方を説いた	(11/7読売)
◆	静岡大でロボット講座 浜松市立広沢小学校児童が受講 プログラミングに挑戦	(11/6中日)
■	小型で低価格の携帯型心拍モニター装置 静岡大工学部山川俊貴助教が開発	(11/6中日)
◆	浜松地域テクノポリス推進機構と静岡大が「グローバルイノベーションフォーラム2010」開催 海外展開の方策を討論	(11/6静岡)
▲	ネブラスカ大オマハ校の学生が姉妹校である静岡大でジャズ演奏披露	(11/6静岡)
▲	旧制静岡高校同窓会創立88周年記念大会 静岡大伊東学長も参加	(11/6静岡)
◆	東海地震情報検討会の初会合（静岡大小山教授参加） 年内に住民意識調査を実施	(11/5静岡)
▲	有形文化財登録の住宅で刺繍作品展 住宅は'07年静岡大人文学部日本史学研究室調査	(11/5静岡)
◆	静大・読売連続市民講座第7回 命を巡る倫理をテーマに人文学部松田教授が講演	(11/5読売)
◆	日本書道教育協会が「書道大学講座」 静岡大教育学部講師山内常正さんが講演	(11/4静岡)
▲	静岡大付属静岡中で「附中夢講座」を開催 生徒、保護者が多彩な講座で教養深める	(11/4静岡)
◆	フーズ・サイエンスセミナーin焼津 静岡大他の産学連携担当者による相談会等	(11/3日経)
▲	沢口山遭難の5人無事救助	(11/3静岡、毎日、読売、中日)
▲	秋の叙勲 静岡大学名誉教授渡辺功氏が中綬章受章	(11/3毎日、読売、中日)
◆	県地方議長連絡協議会が「平成の大合併」テーマに政策研修会 静岡大人文学部日誌教授が講演	(11/2静岡)
▲	静岡大付属静岡小と市立小学校の児童13人が2泊3日の通学合宿 協調性習得	(11/2静岡)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
▲	沢口山で遭難 1日夕までに無事確認するも日没で捜索中止 救助活動再開	(11/2静岡、毎日、読売、中日)
▲	静大大学院生含む5名が川根本町沢口山で遭難か 同僚にメール	(11/1中日)
◆	「中高生のためのサイエンスカフェ」静岡大男女共同参画推進室が開催	(11/1静岡)
●	リーフ茶を若者に売るアイデア 世界お茶まつりで静大生7人が発表	(10/31静岡)
▲	ユニバーサルデザイン対応製品・サービスが続々 静岡大は自宅受講できるITシステム構想	(10/30日経)
▲	国立大運営費交付金は6年連続減少 厳しい運営状態に経費削減も限界	(10/30中日)
●	大学生がつくる新聞 増加する「一人」を楽しむ学生 静大生インタビュー 荻野静大准教授寄稿	(10/30毎日)
◆	静岡大と浜松地域テクノポリス推進機構が「グローバルイノベーションフォーラム2010」を開催	(10/30静岡)
◆	大学祭の季節 静岡大ではキャンパスミュージアムで企画展 各大学多彩な催し	(10/30静岡)
▲	世界お茶まつり開幕 静岡大平形精一教授が茶の字を揮毫し開幕に花	(10/28静岡)
■	生きた細胞のナノ構造を観察できる顕微鏡を静岡大学工学部が試作	(10/28日経)
▲	『時評』地震予知は長期視野での取組が必要 林静岡大防災総合センター准教授	(10/28静岡)
■	静大工学部他が地球の磁場を宇宙空間の推進力として利用する世界初の実験	(10/27静岡)
▲	研究室拝見 静岡大農学部本橋玲子准教授	(10/24読売)
●	第58回全国吹奏楽コンクール大学の部で、静岡大が銀賞	(10/24朝日)
●	「静岡かがく特捜隊」が出張ふしぎかがく塾 静岡大学生ボランティアが児童に手ほどき	(10/24静岡)
▲	静岡大防災総合センター小山真人教授が「伊豆の大地の物語」を出版	(10/23、10/24静岡)
▲	静岡県不正経理判明 静岡大人文学部日詰一幸教授「諸悪の根源は予算の単年度主義」	(10/23中日)
●	不備な契約書を渡し特定商取引法違反で逮捕 静岡大生ら約20人が被害	(10/23朝日)
■	静岡大附属静岡中で公開授業 英語で日本人の「心・季節感」を伝える	(10/23静岡)
▲	静岡地裁裁判員裁判で猶予判決 静岡大人文学部神馬幸一准教授コメント「PTSDの概念の説明など、検討が必要」	(10/22静岡)
■	静岡大附属静岡小で研究発表会 授業の進め方等を議論	(10/22静岡)
▲	静岡大は、重傷交通事故を起こした准教授を戒告処分	(10/22静岡、朝日、中日)
■	富士川河口断層帯 東海地震連動の可能性を政府が明示 「国として明示したことは前進」静岡大創造科学技術大学院林愛明教授	(10/21静岡)
◆	谷津山再生へ県、企業と市民団体の3者が協定 市民団体「谷津山再生協議会」（総括代表・重岡広男静岡大技術専門員）	(10/21静岡)
◆	静岡大学で、近隣住民と外国人の国際交流を図るオリエンテーリング 60人が参加	(10/21静岡)
▲	留学生と企業の就職面談会開催 「現地幹部候補として採用する企業があるも選考基準は厳しい」静岡大担当職員コメント	(10/20静岡)
▲	2011年4月 静岡大静岡キャンパス内に一時保育スペースを開設 浜松キャンパスでも学童保育	(10/20静岡)
◆	県立榛原高校で「大学模擬授業」 静岡大と県立大から講師を招く	(10/20静岡)
◆	県スポーツ振興審議会（会長松井恒二静岡大教授）初会合 スポーツ振興基本計画の策定を諮問	(10/19静岡)
▲	静岡市幹部OBの天下りは指定席化 静岡大人文学部日詰一幸教授がコメント「多様な人材登用を」	(10/18読売)
◆	静岡大で公開講座 知的障害のある社会人と静岡大教育学部の学生が共に学ぶ	(10/18静岡)
●	「静岡熱血教師塾」第2期生の入塾式 入塾生代表静岡大教職大学院1年が抱負	(10/18静岡)
◆	浜松科学館と静岡大工学部が企画 ピンポン球を集めるロボットの収集性能を競う大会	(10/17中日)
■	静岡大教育学部附属浜松小学校で研究発表会 工夫凝らした授業を紹介	(10/16中日)
◆	工学フォーラム2010 パネルディスカッション第2部パネリストに佐古猛静岡大学工学部副学部長	(10/16読売)
■	富士山南面の永久凍土が消滅 静岡大増沢武弘教授ら調査	(10/16読売)
◆	COP10合わせリレー講演 「山から考える生物多様性」をテーマに講演 静岡大理学部増沢武弘教授	(10/16静岡)
◆	県中部未来懇話会第2回シンポジウム パネル討論会で静岡空港の重要性を指摘パネリストに静岡大日詰一幸教授	(10/15静岡)
◆	県防災訓練「再検討が必要」静岡大防災総合センター小山真人教授ら県総合防災訓練外部委員会が指摘	(10/14静岡)
◆	「かかりつけ医 心の健康対応力向上研修会」で、静岡大学大学院磯田雄二郎教授が講演	(10/13静岡)
●	第65回関東合唱コンクールで金賞 静岡大学混声合唱団が全国大会へ	(10/12朝日)
▲	研究室拝見 静岡大学防災総合センター牛山素行准教授	(10/10読売)
◆	東海地震情報の認知度向上のため有識者検討会を気象庁が設置 メンバーに小山真人静岡大教授	(10/9静岡)
●	静大生が臓器提供意思表示カード普及活動を開始 オリジナルカードを作成	(10/8静岡)
◆	「書道大学講座」受講生募集 静岡大書道講師山内常正氏が解説	(10/8静岡)
●	静大チームSUM「全日本学生フォーミュラ大会」で総合6位 2年連続入賞	(10/8日経)
◆	静岡大・読売講座詳報 残留性の高い化学物質は食物連鎖の上位に蓄積 理学部山内教授	(10/8読売)
▲	静岡大人文学部で「京劇」の役者を招き芸術鑑賞会	(10/7静岡)
◆	「静岡県中部未来懇話会」第2回シンポジウムを14日に開催 パネル討論に静岡大日詰一幸教授が参加	(10/6静岡)
◆	静岡市小嶋市長のマニフェスト検証を市民評価委員会に委嘱 委員長に日詰一幸静岡大教授	(10/6静岡)
●	静大工学部「NIFEEプログラム」に東南アジアから2期生10人が入学	(10/6静岡、中日)
●	アカペラグループ「マグネット」主催の路上ライブに静岡大学生グループも出演	(10/4静岡)
▲	静岡大はクラウドコンピューティングへの全面移管作業に着手 大学では国内初の試み	(10/2日経)
◆	静大・読売新聞連続市民講座第6回は「環境ホルモンの影響」 環境化学物質の功罪を指摘	(10/3読売)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
●	毎日新聞静岡支局でインターンシップ生が記者研修 静岡大3年生が参加	(10/2毎日)
◆	「県経済産業政策会議」で柳沢正静岡大副学長らが「環境産業の振興」のヒントや提言を発表	(9/30静岡)
▲	平成精一静岡大教育学部教授ほか2010年度「O-CHAパイオニア賞」を受賞	(9/29中日)
●	小・中学校作文コンクール県審査で、付属浜松中2年生が入賞、佳作に選出	(9/30読売)
▲	静岡大発ベンチャーITSCが低料金のクラウドコンピューティング導入支援事業を開始 静岡大と共同でクラウドサービスの内容を検証 支援事業に生かす	(9/29日経)
◆	静岡大など3法人が「次世代育成支援対策推進法」に基づく認定を取得	(9/28中日、日経、9/29静岡)
◆	電動エコカー実験開始 静岡大工学部などでエコカーの車両走行実験	(9/28中日)
●	「学長インターンシップ」で学生5人が静岡大学学長の仕事を体験	(9/28毎日)
●	進路を決めるきっかけにと磐田市西高で大学の模擬授業 静岡大教授らが講義	(9/28静岡)
●	書道家松下清泉氏主催のグループ作品展「致清会書作展」で、静岡大附属浜松中1年生が中日賞を受賞	(9/26中日)
●	大学生がつくる新聞にて、小国、治安の悪い国に留学する学生の増加について静岡大学生のインタビュー、記事掲載	(9/25朝日)
◆	静岡大学地域連携協働センター特任教授土井英二氏 大学の「力」を地域で生かす	(9/25朝日)
▲	どうぶつの絵コンクール入賞作品を選出 審査委員長は白井静岡大教授	(9/25静岡)
●	静岡大学教育学部附属浜松中の男子中学生が、地元の食文化研究をきっかけに「新浜松カレー」を考案	(9/24静岡)
◆	浜松科学館で小中学生が、ツメガエルの人工授精に挑戦 黒田静岡大准教授が講師	(9/24中日)
◆	11月から静岡大公開講座「ノルディックウォーク体験」開催 受講者募集	(9/24静岡)
▲	東海地震に備える 水や電気の資源確保に課題 池谷静岡大教授	(9/23中日)
◆	静岡大と静岡県とで作成「命のパスポート」地震直後の行動をイラストで紹介	(9/23静岡)
◆	農商工連携で新農業ビジネスを展望 「浜松市アグリビジネスセミナー」で静岡大農学部糠谷教授が解説	(9/23静岡)
●	ふじの翼グローバルリーダーが杭州・上海を訪問 静大生も参加	(9/22静岡)
■	電気自動車普及のチャンス 強みを生かす協業模索	(9/22静岡)
▲	商用クラウド化 静岡大が環境整備完了し全国初、来月から運用	(9/22静岡)
◆	「南アルプスの高山植物」をテーマに 増沢静岡大教授が市民らに講演	(9/18中日)
■	O-CHAパイオニア賞 平形静岡大教授ら5個人・団体が選ばれる	(9/17静岡)
▲	静岡大がユニークな取組み「学長インターンシップ」学生が大学経営に参加	(9/16読売)
●	全日本女子相撲大会で県勢女性力士3人優勝 静岡大松浦みなみさん優勝	(9/16静岡)
◆	『時評』「自助共助」の限界 「公助」と役割分担が必要 牛山静岡大准教授	(9/15静岡)
●	静岡大・東海大学生やNPOが協力 市内各所で清掃活動	(9/14静岡)
◆	静岡で来月 お茶をテーマに市民大学講座開催 受講生募集	(9/11中日、9/17静岡)
●	台湾学生ら16人が静岡大浜松キャンパス訪問 浜松の産業に興味	(9/11中日)
◆	静岡大・読売講座詳報 疾病予防と健康観「人間」を見る医療が大切	(9/10読売)
■	富士山頂の連続永久凍土が消滅「高山植物に大きな影響」増沢静岡大教授ら調査	(9/8、9/9静岡)
●	第8回全日本学生フォーミュラ大会開幕 過去最多となる85チーム参加	(9/8毎日)
●	第65回東海吹奏楽コンクール 静岡大とヤマハが全国大会出場	(9/6朝日)
◆	第5回静大講座「自分の健康に関心を」山本静岡大教授が生活習慣病予防を訴え	(9/5読売)
■	静岡県内養護学校教諭が研究発表 東海学校保健学会総会開催	(9/5静岡)
◆	次世代車の普及を探るフォーラム浜松で開催 中村静岡大教授、今後の課題を主張	(9/4静岡)
◆	異分野融合、新学問の「子ども学」を提唱した小林氏が静岡大学で講演	(9/2中日)
◆	4日静岡大講座「気持ち前向き長生き傾向」健康をテーマに山本静岡大教授が講演	(9/2読売)
●	第8回全日本学生フォーミュラ大会 静大チームSUM「優勝狙う」	(9/2静岡)
▲	静岡総合研究機構が、静岡大学農学部など本年度の助成11件を発表	(9/1中日)
◆	遠州灘保全期成同盟会主催 津波情報をテーマに講演会 牛山静岡大准教授	(9/1静岡)
■	静岡大などが開発したロケット打ち上げ 姿勢制御技術を実験	(8/31静岡)
■	交換不要のインプラント 藤井静岡大助教らの研究グループが開発中	(8/30静岡)
▲	防災の日 一人一人が対策を学び個人の力を高めよう 林静岡大准教授	(8/28毎日)
◆	静岡大・読売新聞講座詳報 食品の安全性には科学的根拠 唐木東京大名誉教授	(8/27中日)
●	児童35人が静岡大学生とキャンプ カレー作りやオリエンテーリングで交流	(8/24静岡)
●	静岡大大学院生が遺体で発見	(8/24静岡、中日)
■	世界初、静岡大などが地球磁場を利用した推進システム実験 観測ロケットあす打ち上げ	(8/24静岡)
●	鹿児島で静岡大大学院生が遊泳中行方不明に	(8/23静岡、中日、読売)
◆	25日、静岡大浜松キャンパスで夏のわくわく実験教室in静大を開催 参加募集	(8/20日経)
◆	静岡大・読売新聞講座詳報 日本の伝統的食生活を再考、新しい食の風景模索を 矢野静岡大教授	(8/20読売)
◆	28日、静岡大とコープしずおかが連携講座「食品化学の世界」をテーマに	(8/18静岡)
▲	県内2国立大学が運営交付金削減に危機感 国が予算一律10%削減方針を示す	(8/15静岡)
◆	静岡大講座「食と人のあり方」に警鐘 日本の食生活をテーマに 矢野静岡大教授	(8/8読売)
◆	震度6弱地震から1年、特徴や対策を学ぶ防災セミナーに市民180人参加	(8/7毎日、読売、中日)
◆	温室効果ガス排出を相殺「オフセット活用を」静岡大で地球温暖化対策セミナー	(8/7静岡)



種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
◆	第4回静大連続市民講座は矢野静岡大教授が講演 伝統的食生活を考える	(8/3読売)
◆	静岡大理学部サイエンススクールに中高生78人入校、科学の世界に興味	(8/1静岡)
▲	静岡大付属幼稚園、河津さくら幼稚園 両PTAが文部科学大臣表彰	(7/31静岡)
◆	静岡大教授ら専門家が子供に直接指導 小中学生夏休み講座 御前崎「灯台村塾」	(7/30読売)
▲	「この人」静岡大防災総合センターセンター長 増田俊明さん 地域の防災力向上に精力的に取り組む	(7/30静岡)
●	「ひと日和」低価格競争に現実的な目線 静岡大環境サークル「リヤカー」	(7/29静岡)
▲	静岡大若手教員が研究パートナーとなる企業を募集	(7/28中日)
■	『時評』ジオパークとは何か 地域振興のための選択肢を視野に 小山静岡大教授	(7/27静岡)
●	ワルシャワ大学生ら市長訪問「温かい歓迎感謝」静岡大での留学経験生かしたい	(7/24静岡)
■	静岡大大学院グループが農作物活性化する物質「フェアリーリング」を解明	(7/23朝日)
●	ポーランドの文化を知って 静岡大がワルシャワ大日本語学校の生徒と交流会	(7/23静岡)
◆	「タバコの怖さを知って」富士見小でタール健康悪影響の授業 赤田静岡大准教授	(7/22 静岡)
▲	茶学術研究会新体制発足 新会長に衛藤静岡大教授	(7/21 中日)
◆	COP10に出展、南アルプスの自然魅力PR 世界遺産登録を市民にアピール 佐藤静岡大名誉教授	(7/21中日)
◆	静岡大農学部用宗フィールドを一般公開 ワニガメ「怖い」子供たちが観察	(7/19静岡)
●	「静岡時代」第3回調査 参院選、学生投票率7割 雇用関心「票の重み実感」	(7/17静岡)
◆	伊豆の僧侶佐治さん、紙芝居で平和訴える 静岡大で平和を考える集い開く	(7/17静岡)
▲	青春の歌声再び 静岡大学OBグリークラブが夢の演奏会、25日浜松で開催	(7/15朝日)
◆	静岡市立高で里村静岡大教授が研究紹介「GPSで東海地震の予知を目指す」	(7/15静岡)
▲	【広告】夏が来たなら静大へ！夏季オープンキャンパス	(7/15中日)
◆	静岡大、浜松キャンパスで27日、第21回共同研究テーマ説明会を開催	(7/14中日)
▲	しぞーかキャラリンピック「静岡大しぞっぴー」県キャラふじっぴーと兄弟みたい	(7/13日刊スポーツ)
●	静岡大生ら大学生4人に奨学金 静清信用金庫が認定授与式	(7/8 静岡)
▲	キーワードを頼りに比較 佐藤静岡大准教授、マニフェスト検索サイト開設	(7/7 静岡)
●	静岡大浜松キャンパス ものづくり人材育成センター完成、技術開発拠点に	(7/6 朝日)
▲	ネットで政党別の獲得議席を予想 高い的中率、今回は？ 佐藤静岡大准教授	(7/6 中日)
●	息の合った演奏で聴衆を魅了 静岡大管弦楽団が定期演奏会を開催	(7/5 静岡)
◆	静大連続市民講座「緑茶で肥満予防」茶山静岡大准教授 約110人の市民が熱心に	(7/4 読売)
▲	県立大・静岡大「学長と語る場」"学生との距離縮まる" 同じ目線で交流	(7/4 静岡)
●	工作や砂遊び、園児と触れ合い成長や遊びについて学ぶ 静大島田附属中学校	(7/3 静岡)
●	季刊誌「静岡時代」と静岡新聞調査 学生7割近くが参院選挙注目	(7/2 静岡)
●	「静岡時代」編集部学生と県選管が参院選特集チラシを作成、県内5大学で配布	(7/1 中日)
▲	静岡市地域主権改革推進計画 アドバイザーに日詰静岡大教授を委嘱	(7/1 静岡)
◆	次回静大講座「機能性食品としての緑茶」茶山静岡大教授が効能解説	(6/29読売)
■	骨粗しょう症予防に有効 ミカンに注目の成分、仕組み解明 加藤静岡大准教授	(6/28静岡)
●	静岡大浜松 地域連携の拠点、ものづくり人材育成センター落成式	(6/25静岡、日経)
●	静大附属浜松小で他校の教員交え公開授業 道具提供、遊び方見つける授業披露	(6/24中日)
◆	地球環境・原発テーマに保全学会などが来月御前崎で学術講演会開催	(6/24中日)
▲	静岡大「見える化」で省エネ効果 消費電力などITで監視し、学生にエコ意識促す	(6/24日経)
●	定員1980人維持 静岡大が2011年度入学者選抜要項を発表	(6/23静岡)
●	ものづくりのまち・浜松を支える 静岡大が人材育成センター開設	(6/22中日)
◆	静岡大で県地学会講演 蛇紋岩の働きが温暖化防止に役立つ 道林静岡大准教授	(6/22静岡)
●	知的障害者と静大生が水彩画を描いて交流 公開セミナーを開催	(6/21静岡)
▲	村井静岡大理学部長に聞く 中高生向け通年講座、興味分野見つける良い機会に	(6/21静岡)
▲	電気やガスのエネルギー消費を視覚化し、省エネを目指す 静岡大	(6/18静岡)
◆	静岡大浜松キャンパスで飯田小児童110人がロボットプログラムに挑戦	(6/18中日)
▲	本音インタビュー 静岡大キャンパスミュージアム運営委員長 和田秀樹氏 静岡キャンパス生物調査、動植物の生態を把握	(6/18静岡)
■	県工業技術研究所支援センターと西部4大学が研究成果発表会 最新研究に注目	(6/17中日)
◆	静岡大工学部が浜松に新施設設置 ものづくりの教育拠点に活性化を目指す	(6/17静岡)
▲	『時評』防災と危機管理 被害減は事前対策が重要 林静岡大准教授	(6/16静岡)
●	「キャンパス拜見」機材ずらり、情報発信拠点 静岡大浜松インフォ・スタジオ	(6/15静岡)
▲	『この人』3大学連携事業推進委員会の委員長 佐藤静岡大人文学部長	(6/15静岡)
◆	静岡大が中高生対象に科学講座開設 実験、観察で洞察力を養う	(6/15静岡)
◆	第2回静岡大・読売講座詳報 酵母は免疫細胞の増殖に作用	(6/11読売)
■	より良い授業法を探る 静岡附属中で研究授業 教員が生徒の表情観察	(6/11静岡)
◆	静岡大地学研究会、26日に小学生対象の「夏の地球教室」開催 テーマは「深海」	(6/9静岡)
■	静岡大が光学10倍の顕微鏡を試作 医療分野に応用可能、実用化を目指す	(6/8中日、日経、6/9毎日、6/14静岡)

種別	記事タイトル	掲載日・新聞名
◆	発酵の仕組みと秘密を解説 静大連続市民講座 瓜谷静岡大教授が140人に講演	(6/6読売)
◆	「静大フェスタ」きょうまで開催、地元住民へ大学の研究や機能をPR	(6/6静岡)
■	静岡大農学部・富士見工業などの研究グループがイチゴ炭疽病 微生物で抑制成功	(6/5静岡)
◆	静大・読売新聞講座第2回は「発酵の仕組みと酵母の秘密」瓜谷静岡大教授が講演	(6/4読売)
●	静岡大教育学部書文化専攻学生が同大学附属図書館にて作品展を開催	(6/3静岡)
▲	静岡大など6研究機関が設立した「静岡TTO」 国が技術移転組織に承認	(6/2中日、6/3日経)
◆	5、6日グランシップで「静大フェスタ」開催 静岡大学の機能を住民にPR	(6/2静岡)
■	分解性能10倍の光学顕微鏡 川田静岡大教授らの研究グループが開発	(6/1中日)
▲	『この人』静岡大サイエンスカフェ4代目店主 坂本静岡大教授	(6/1静岡)
■	ワニガメ、巴川で捕獲 静岡大農学部附属地域フィールドセンターが調査用に飼育	(5/30静岡)
●	初調査、静大生4割が懐事情に厳しさを 学年上がるとともに増加傾向	(5/29中日)
◆	「県上級防災士」文科省支援対象に採択 年間10人受講料無料、養成へ	(5/28静岡)
■	四川大地震1000年前にもM8級の地震 林静岡大准教授の研究で発見	(5/25静岡)
▲	インタビューしずおか「戦国時代ブーム」第一人者に聞く 小和田静岡大名誉教授	(5/22朝日)
■	サンゴ白化、細菌で加速 鈴木款静岡大教授の研究チームが調査	(5/19沖縄タイムス)
●	学生諸君選挙に"参加"を 浜松市選挙管理委員会が静大など5大学でPR	(5/19中日)
■	静大研究グループが芝の輪状成長の謎を解明 秘密はキノコ菌の物質	(5/19中日)
▲	【広告】静岡大学「自由啓発・未来創成」をビジョンに	(5/18中日)
▲	「心動かす人材育成」自由な教育環境で未来創成へ一丸 静岡大学	(5/18静岡)
▲	伊東静岡大学長が「オフィスアワー」、学食で学生からの質問や相談を語り合う	(5/18静岡)
◆	清水の事業、全市に展開 静岡大など3大学と連携商品開発を着々と進める	(5/16静岡)
●	学生消防団員として協力 静岡大大学院大類光平さん	(5/14中日)
◆	静岡大・読売新聞講座詳報 危険回避へ食の基礎知識が必須 杉山静岡大教授	(5/14読売)
◆	減災狙い専門家を育成へ 県と静岡大が「上級防災士」新設を検討	(5/14静岡)
●	減少する消防団員 静岡大で加入の呼びかけ	(5/13毎日)
●	「キャンパス拝見」静岡大学生寮「雄萌寮」生活や行事に息づく伝統	(5/12静岡)
▲	静岡大と市民文化振興財団 科学教育連携へ覚書を締結	(5/8静岡)
◆	静大・読売新聞連続市民講座 第1回は「食の安全性」をテーマに	(5/7読売)
▲	『時評』津波の高さ予想数値だけを見ず、さまざまな情報を参考に行動を	(5/4静岡)
●	静岡大で防災訓練 新入生力あわせ"救護"担架など実践的に体験	(4/30静岡)
◆	静岡大60周年シンポジウム 名誉教授3氏が平和の在り方について議論	(4/25静岡)
●	宮司教諭(磐田東高)が静大大学院終了「均衡のとれた運動教育を推進」	(4/21中日)
◆	あすから静岡大が「サイエンスカフェin静岡」を開催	(4/21静岡)
▲	研究室拝見 国と地方の財政研究、身近な例で分析 川瀬静岡大教授	(4/18静岡)
◆	葵区で防災セミナー開催 静大教授ら、駿河湾地震調査報告	(4/18中日)
●	静岡南署などが静大生対象に交通安全講習会を開く 性格による運転適性を診断	(4/16静岡)
▲	静岡大、指静脈認証を開始 学生ら500人超が登録完了	(4/16静岡)
◆	第58回「産学官交流講演会・交流会」2つのテーマで静大工学部助教らを講師に	(4/14日経、4/15静岡)
◆	文部科学省平成22年度科学技術表彰、熊野静岡大教授受賞 教育普及に貢献	(4/14静岡)
▲	静大「指静脈認証」を全面導入 入室管理や端末ログインに使用、学内2万人登録	(4/13静岡、日経)
◆	学長室、学生や地域住民に開放 静岡大学新学長 伊東幸宏さん	(4/10静岡)
◆	静大附属図書館リニューアル「交流、滞在型」をテーマに利用者の拡大を図る	(4/6静岡)
●	2800人が新たな一歩 静岡大学部生、大学院生が入学式	(4/5静岡、中日、読売)
▲	研究室拝見「ネットと選挙」を未来展望 佐藤静岡大准教授	(4/4静岡)
■	生ゴミと廃プラから石炭なみのエネルギー 商品化目指す 佐古静岡大教授	(4/3読売)
▲	静岡大伊東新学長所信表明「人を大切にしたい」	(4/2静岡、中日)